

# ケアハウス山科

# だより

2024

4

Vol.302



「協調と和」そして「コミュニケーション」を大切にしながら  
日々の生活に潤いあるサービスをサポートします



# 施設の様子

## 4月6日(土)『お花見』(醍醐寺)

参加者を募って、京阪バスに揺られながら醍醐寺まで。  
醍醐寺は「花の醍醐」と呼ばれるように、  
桜の花でも有名です。

世界文化遺産でもある醍醐寺で、  
『秀吉も愛した桜』を楽しみました♪



## 4月7日(日)『お花見散歩』

こちらも参加者を募り、施設近辺のお花見散歩に  
お出かけしました！

途中、旧安祥寺川で休憩をし、堂田児童公園まで  
ゆっくり、のんびりとお散歩しました。  
山科区は桜の隠れた名所でもあります。

施設から歩いてすぐの場所でも、  
桜を楽しめますよ♪



## 職員あれこれ

エッセイ

皆さまこんにちは。施設長の林です。

4月に入り、日中も暖かくポカポカ陽気。ようやく過ごしやすい季節になりました。ひなたぼっこやお散歩、どこかへお出かけしたくなるような気分になりますね。

さて、今月号をご覧になった時に少し変わった？なんて思われた方もいらっしゃるかもしれませんが、ハウスだよりがリニューアルしました！  
その中の一コマですが、職員のリレー方式によるエッセイが始まります。  
自身の体験談や趣味、日頃感じていることなど、自由な形式で綴っていこうと今月を皮切りにスタートします。

早速ですが、私事で恐縮ですが今春から長男が他府県へ就職、一人暮らしをすることになりました。親としては一安心といったところですが、しかし、一方で期待と不安、一抹の寂しさもあり複雑な心境です。皆さまにとっても4月は新年度のはじまり。ほどよい緊張感と新たな気持ちで、何事も前向きにスタートさせたいですね。



## 日々是好日

コラム

『久方の光のどけき 春の日に 静心(しづごころ) 愈く 花の散るらむ』

(のどかな光が差すこの春の日に、どうして桜の花は落ち着きもせず散ってしまうのだろう)

春が訪れ、やっと咲いたかと思えば、慌ただしく散っていく桜の花。もの悲しさを詠った一首。百人一首に収録されている、桜の美しさが表現されている紀友則の歌です。  
日本には昔から、四季折々の季節や自然の魅力を表す美しい日本語が数多く存在します。

🌸 陽射しが明るく穏やかな春の様子を表す、**麗か(うららか)**

🌸 落ち着いて穏やかな様子を表現している、**長閑(のどか)**

🌸 春に吹く風がきらきらと光るように感じられることを意味している、**風光る** など。

日本語には、季節を表す美しい「季語」がたくさんありますが、中でも春は他の季節と比べて細かな表現をする言葉が多く存在しています。これは凍えるような冬が過ぎ、訪れた春に趣きを感じる、昔の日本人の気持ちの表れなのかもしれません。

さて、春といえば桜の花を見て楽しむ「お花見」ですが、春は桜以外にもたくさんの魅力的な草花を楽しむことができます。暖かく、過ごしやすくなった春は、色彩豊かな花々に注目しながらお散歩もいいかもしれませんよ。施設付近でも見ることができる花も多くあります。

桜はもちろん、桜が散った後でも、菜の花、チューリップ、ネモフィラ、藤、ツツジ…他にもたくさんの花を楽しむことができます♪

🌸 穏やかな春の陽気に誘われ、春の植物を楽しんでみられてはいかがでしょうか。

